

役員セミナー・プレ学習会
「労働組合あるとき！ないとき！」

9月28日(月)19:00～、国会会館3階中会議室

第4回非正規労働者部会総会

9月30日(水)18:30～、国会会館3階中会議室

人形劇団クラルテ「有頂天家族」公演

10月2日(金)14:00/19:00・3日(土)14:00/18:30

4日(日)14:00、大阪市立子ども文化センター(未就学児入場不可)



告知板

大阪労連 第50回定期大会

大阪労連は9月5日(土)、天王寺区民センターで第50回定期大会を開催し、代議員による活発な討論をへて全議案を採択し、2016年度のたたかいをスタートさせました。

大会スローガンに、「安倍政権打倒、維新政治打破 許すな！戦争・改憲と労働者使い捨て社会 つくりあげよう！たたかひの砦『10万大阪労連』をかけた、2016年度の運動方針として、①「憲法をまもり活かそう」を合言葉に組織の総力を結集し、「暴走」「独裁」政治を打ち破る府民的・国民的大闘争の構築、②安倍政権を退陣に追い込み、戦争する国づくりと改憲発議阻止



大阪労連 川辺議長

ご来賓の(左から)全労連・井上事務局長、大阪憲法会議・丹羽幹事長、日本共産党・辰巳参議院議員

安倍政権打倒 維新政治打破

許すな！戦争・改憲と労働者使い捨て社会 つくりあげよう！たたかひの砦『10万大阪労連』

「戦争か平和か」—日本の歴史的岐路

戦争法案廃案へ たたかひの正念場

「戦争か平和か」—日本の歴史的岐路、戦争法案廃案のたたかひは正念場を迎えています。

参議院での国会審議でも、「安全保障関連法案=戦争法案」の違憲性と危険性が次々と明らかとなり、集团的自衛権の行使容認、「戦闘地域」への自衛隊派兵、武器使用の拡大、後方支援という名の「兵站」、PKO法「改正」による治安維持活動への参加など、まさに憲法が禁じている「武力の行使」をすすめる法案の正体がはっきりしてきました。

軍事作戦次つぎ

—戦前の軍部独走と同じ構図

防衛省統合幕僚監部の内部文書「日米防衛協力のための指針(ガイドライン)及び平和安全法制関連法案について」の中で、日程表に「8月に平和安全法制が成立」、その「6カ月以内の施行」開始として来年2月に施行と明記していることが参院安保法制特別委員会で暴露されました。また、8月に部隊派遣延長が閣議決定されたばかりの南スーダンPKO活動で来



8月30日、扇町公園で開催された「おおさか大集会」

年3月から「駆けつけ警護」を認めるなど、日程が具体的に示されています。

さらに自衛隊の河野統合幕僚長が昨年12月に米軍最高幹部と会談し、来年夏までに集团的自衛権行使が可能となる法律ができるとか、辺野古新基地を日米共同使用する、アフリカ・ジブチの自衛隊の海賊対策基地を目的外にも活用するなどの発言が明るみに出ました。

国会で法案審議中にもかかわらず、自衛隊内部で法案成立を前提にした克明な検討がされていたことは、国会無視、国民を欺くものです。

国民の声が 政府与党を追い詰める

「8・30国会10万人・全国100万人大行動」では、全国津々浦々から一斉に「9条守れ、戦争法NO!」の声が上がりました。扇町公園で開催された「おおさか大集会」には25000人が集まりました。現在、大阪府内でも連日、デモや宣伝行動が行われています。かつてない共同のひろがり、私たちの運動が安倍内閣と政府与党を追い詰めています。9月あらゆる行動を展開し、戦争法案を必ず廃案に追い込みましょう。

止に全力をあげ、労働者・国民の状態悪化に歯止めをかける要求闘争前進と組織拡大で、日本社会の未来を切り拓くたたかひを展開することを重点

としました。その上で3つの最重要課題として、①戦争法案阻止、安倍政権打倒に総力を挙げ、労働法制改悪・原発再稼働・TPP・消費

税・社会保障など労働者・国民のいのちとくらしを守るたたかひの前進と共同の拡大、②11月22日予定の大阪府知事・大阪市長「ダブル選挙」で維

新政治を終了させ、「改憲タッグ」を断ち切る、③たたかひの基礎である、要求を基本にした日常的組合活動をすすめる、組織拡大強化に取り組む

ことを決定しました。また新年度の予算・役員なども承認されました。【2016年度役員体制と退任役員は2面に掲載】

国労大阪会館を

研修・学習会などにご利用ください

JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ

◆身障者用昇降機設置

お申し込みは ☎06(6354)0661

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2



草の根運動の広がりがより一層求められる。

天満でとどけ

今年度は4年に1度の中学校教科書選択の年。過去の侵略戦争を「自存自衛の戦争」「アジア解放の戦争」と描き、改憲へ誘導する育鵬社の教科書を前回に引き続き大阪で、今年新たに四條畷、河内長野、大阪、泉佐野の各教育委員会で、多くの父母や教職員の反対を押し切り採択を強行。▼泉佐野では選定委員会が育鵬社以外を答申したが、ヘイトスピーチで有名になった「在特会」メンバーが採択を求めた宣伝や傍聴する中、教育委員会が決定。▼来年度から大阪の全中学生18%にあたる約2千名の生徒が使用するようになる。戦争する国づくりと人づくりを阻む草の根運動の広がりがより一層求められる。